

課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	将来の変化を予測することが困難な時代であっても、子どもたち一人一人が夢と志を持って自ら未来を切り拓いていけるよう、確かな学力・豊かな心・健やかな体をバランスよく身につけられる教育を推進していく必要がある。	大学や民間企業と連携した学習系・スポーツ系の講座・イベントプログラムの実施。地域人材を活用したスポーツ教室。	大学や民間企業と連携した学習系・スポーツ系の講座・イベントプログラムの実施。地域人材を活用したスポーツ教室やプログラミング教室等の実施。【継続】	児童の健やかな心や主体的に学習に向かう態度を育む。体力向上に向けて運動好きな児童を育てる。	参加児童対象アンケートにおいて、 ・勉強が好きになったと答えた児童の割合 ・運動が好きになったと答えた児童の割合	・40 ・42	%	・50 ・50	・28 ・39	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・来年度も目標を継続し、多種多様なイベントプログラムを実施できるように努める。 ・令和6年度予算から、講師謝金等の予算措置を改め、多種多様なイベントプログラムをココフレンド毎に設定できるようにしたが、指標は下回ってしまった。
②学校と地域の課題	青少年の健全育成	地域活動等へ参加し、多世代との交流や成功体験が、自己肯定感の向上に繋がると考えられるが、本市はその機会の提供が少ないことが課題となっている。	毎日放課後子供教室を実施している特色を生かし、まずは高学年の積極的な参加を促す。高学年児童が企画・運営したり、まとめ役となるイベントプログラムを実施する。コーディネーター及び教育活動サポーターは計画から実施までのサポートを行う。	毎日放課後子供教室を実施している特色を生かし、まずは高学年の積極的な参加を促す。高学年児童が企画・運営したり、まとめ役となるイベントプログラムを実施する。コーディネーター及び教育活動サポーターは計画から実施までのサポートを行う。【継続】	イベントプログラムの成功体験及びサポートした周囲の大人から褒められることで自信をつける。また低学年児童はその姿を見て、憧れを持つようになり、下学年の児童に対してお手本となる行動ができるようになる好循環が生まれる。	高学年が企画・運営したり、まとめ役となったイベントプログラム実施件数	7	件	17	12	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる ・協力してくれた高学年児童に対しては、自己肯定感の向上に繋がる取組となったと言える。また、引き続きココフレンドに参加してくれることも期待できる。 ・まとめ役に興味を持った低学年児童もおり、学年問わず児童を中心にイベントを実施したココフレンドもある。 ・高学年になると参加できる時間が短くなり、習い事などで参加できない児童もいることから本目標については内容を改めて検討する。 ・卒業生がココフレンドに遊びに来たり、ボランティアとして参加した事例もあった。